

特定非営利活動法人 藍住町手をつなぐ育成会
児童発達支援評価票

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	4		・設備を活動内容に応じ、学習と遊びのスペースに区分したり、身体を使った活動をする際には、公園などを活用するなどの工夫を講じている。
	②	職員の配置数は適切であるか	7	1		・最低基準に加え、児童指導員及び保育士（非常勤職員等）を加配して対応している。 ・利用日の利用人数によって変わる。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	5	3		・支援ツールをもっと充実させる必要がある。 ・事前にホワイトボード等に予定を記載するなど、工夫を行っている。 ・個々に合わせた補助具等を準備している。
業務改善	④	業務改善を進めるための、PDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	5	3		・担当職員全員で支援会議を行って、業務改善に取り組んでいる。
	⑤	家族等向け評価表により、家族等に対して事業所の評価を実施するとともに、家族等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7	1		・アンケート調査を行い、意向を把握した上で、行事起家や支援等につなげている。
	⑥	事業所向け自己評価表及び家族向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6	2		・ホームページで公開をしている。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	/	/	/	
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8			・交代で研修会等に参加し、知識や技術向上に努めている。 ・県内外での研修参加のほか、職員個人の専門資格取得を目指し、また事業所からも資金面でバックアップしている。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと家族のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	8			・家族との面談等を通じてニーズを把握し、個別支援計画を作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	3	2	・現在のアセスメントツールでは不十分であり、平成29年10月より、新たなアセスメントツールを取り入れる予定である。
	⑪	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	3	5		・具体的な支援内容を設定できるように、個別支援会議にて協議を行い、支援に反映している。
	⑫	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	6	2		・個別支援計画を共有し、一貫した支援を行っている。
	⑬	活動プログラムの立案をチームで行っているか	3	5		・行事等、様々な活動プログラムを提案して行っている。
	⑭	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	2		・工夫をしているが、さらなる向上が必要である。
	⑮	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成しているか	6	2		・集団活動が主になっており、子どもの状況に応じて個別活動を行っていく必要がある。
	⑯	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	3		・支援開始前には、前日及び当日の利用者に関する生活状況等を共有し、支援を行っている。
	⑰	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	3	5		・気づいたことなどは、ノートに記載するなど、情報共有を行っているが、不足を感じることもある。
	⑱	日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8			・日常の支援内容は、ケース記録に記載している。 ・毎月支援会議を行い、情報共有・改善等を行っている。
連携	⑲	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	8			・利用者及び家族等と個別支援計画に関するモニタリングを実施し、その見直しを年2回以上行っている。
	⑳	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	3		・学校教員や、他の福祉事業所職員が参加してサービス担当者会議を開催し、連携を深めている。
	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	2	5	1	・さらなる連携体制が必要である。

関係機関や家族等との連携	②②	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等の在宅支援のため、地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	1	5	2	<ul style="list-style-type: none"> 医療的ケアの情報共有を行い、連携した支援ができるように心がけているが、まだ不十分である。 該当者がいない。
	②③	医療的ケアが必要な子供や重症心身障害のある子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	3	3	2	<ul style="list-style-type: none"> 主治医等との連携体制の整備はできている。 家族から通院先の情報を提供いただき、状況把握はできている。
	②④	移行支援として、保育所や幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	4	3	1	<ul style="list-style-type: none"> 保育所、幼稚園等を訪問し、情報共有を行っている。 情報収集に努めているが、十分とは言えない。
	②⑤	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	4	3	1	<ul style="list-style-type: none"> 学校への送迎サービス時などに学校教員と情報共有の連携を図っているが、十分とは言えない。
	②⑥	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	4	1	<ul style="list-style-type: none"> 専門機関との連携が十分とは言えない。 積極的に研修等に参加している。
	②⑦	保育所や、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	5	2	<ul style="list-style-type: none"> 行事でお祭りを行い、利用者や地域の子どもが交流を図る機会を企画している。 交流する機会が少ないので、今後増やしていく必要がある。
	②⑧	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか	1	6	1	<ul style="list-style-type: none"> 自立支援協議会への出席は、ほぼできていない。
	②⑨	日頃から子どもの状況を家族と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7	1		<ul style="list-style-type: none"> 自宅への送迎時や連絡帳で、家族との情報共有、状況把握を行っている。
	③⑩	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	1	4	3	<ul style="list-style-type: none"> ペアレント・トレーニングの研修は、実施できておらず、今後の課題である。
	家族等への説明責任等	③①	運営規程、利用者負担等についていねいな説明を行っているか	7	1	
③②		児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、家族から児童発達支援計画の同意を得ているか	7	1		<ul style="list-style-type: none"> 支援内容等の説明を行っているが、さらなる細かな説明が必要である。
③③		定期的に、家族からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	3		<ul style="list-style-type: none"> その都度、対応を行っている。 福祉制度についての質問等においては、分かりやすい説明を心がけている。
③④		父母の会の活動を支援したり、家族会等を開催する等により、家族同士の連携を支援しているか	5	3		<ul style="list-style-type: none"> 父母会・家族会等の組織はないが、遠足等の行事などで、家族同士が連携・交流できる場を提供している。
③⑤		子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや家族に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	3		<ul style="list-style-type: none"> アンケート調査や家族との面談等を通して苦情内容を把握し、適切に対応しているつもりであるが、十分な対応に至っていない。
③⑥		定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや家族に対して発信しているか	8			<ul style="list-style-type: none"> ホームページやおたよりなど、より分かりやすく活動状況を伝えられるようにしている。
③⑦		個人情報の取り扱いに十分注意しているか	8			<ul style="list-style-type: none"> システムセキュリティには、特段の配慮をしている。
③⑧		障がいのある子どもや家族との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5	2	1	<ul style="list-style-type: none"> 福祉サービスの一環とする相互のコミュニケーション支援の提供には至っておらず、今後の課題である。
③⑨		事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	7	1		<ul style="list-style-type: none"> お祭りに地域住民を招待するなど、交流を図っている。 地元フットサルチームのコーチ陣として、他の福祉事業所利用者等とサッカー活動をしている。
家族等への説明責任等	④⑩	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	2	4	2	<ul style="list-style-type: none"> 各マニュアルの整備は行っているが、現状に沿っているか今後、検討していくとともに、職員も十分に内容を把握する必要がある。
	④⑪	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8			<ul style="list-style-type: none"> 年2回以上、避難・消火等の防災訓練を実施している。 避難経路や避難場所について、確認や把握が不十分であり利用者に対して十分な周知できていないため、今後の課題である。
	④⑫	事前に、予防接種やてんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	7	1		<ul style="list-style-type: none"> てんかん発作等、子どもの状況を家族、学校、医療機関等と連携し、状況確認をしている。
	④⑬	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	1	6	1	<ul style="list-style-type: none"> アレルギーの有無の確認は行っているが、現在対象利用者がいない。
	④⑭	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7	1		<ul style="list-style-type: none"> 支援会議の中で、ヒヤリハットの事例を情報共有している。
	④⑮	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8			<ul style="list-style-type: none"> 研修会に参加し、適切な対応をしている。
④⑯	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子供や家族に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	3	5		<ul style="list-style-type: none"> 個別支援計画モニタリングなどの機会に、口頭では申し合わせをして、利用者及び家族等に了解を得ている。 現在、やむを得ない身体拘束を行わなければならない対象利用者は在籍していないため個別支援計画に記載はない。 	